

私たちの提言案第1号

「ユニバーサルデザインの普及」に関する私たちの提言の提出について

上記の提言案を別紙のとおり、川崎市議会高校生議会実施要領8(5)の規定により提出いたします。

令和2年1月18日

川崎市議会高校生議会議長 羽 生 愛 佳 様

提出者 川崎市議会高校生議会やさしさ推進委員会
委員長 佐 藤 虎汰郎

委 員 鈴 木 麻 由

〃 シラン エリック

〃 齋 藤 祐 希

〃 杉 田 ななの

〃 小 林 未 聖

「ユニバーサルデザインの普及」に関する私たちの提言

これからも住み続けたいまち・川崎の未来のため、川崎市に住む全ての方がより快適に暮らせるよう、「ユニバーサルデザインの普及」に関し、以下の項目について提言します。

記

- 1 子ども連れの方がより快適に暮らせるようにするための取組
 - (1) フードコートや飲食店などにおいて、幼児用の椅子やキッズスペースを増やすとともに、より利用しやすい環境にするため、キッズスペース等の案内を強化する。
- 2 高齢者がより快適に暮らせるようにするための取組
 - (1) 主要駅周辺のバスターミナルに手すりを増設する。
- 3 外国人がより快適に暮らせるようにするための取組
 - (1) 公共交通機関の案内表示に、日本語・英語以外の言語も表記する。
 - (2) 生活に関連したさまざまな情報を多言語で発信する。
- 4 1～3を実現するためのユニバーサルデザインの普及に関する取組
 - (1) 若い人に向けて、SNS（Twitter、YouTubeなど）を利用したルールやマナーの啓発活動を行う。
 - (2) アゼリアビジョンを利用するなど、掲示物の形態や掲示の位置を工夫し、より目立つ広報を行う。
 - (3) 市立高等学校間で協力し、各校の特色をいかした掲示物を作成する。

以上、提言します。

令和2年1月18日

令和元年度川崎市議会高校生議会